

日中韓ロボット研究者 交流ワークショップ

～ロボットの社会実装を通じた実用化について～

人とロボットの共存を中心とした「社会実装」としてのロボット（福祉、医療、介護などの社会支援ロボット、災害救援・対応型ロボット、環境型ロボットなど）、ロボット技術をバリューチェーンとして捉え、社会生活やコミュニティにおける人とモノの流れの中でいかに産業化できるかを議論することにより、次世代ロボット知能化の推進を図ります。

入場無料

◆日時 平成23年11月7日（月）9:00～17:00

◆場所 北九州国際会議場 メインホール
北九州市小倉北区浅野3-9-30
<http://www.convention-a.jp/access/>

- <主催> 日中産学官交流機構 中国科学技術部高新技术發展及産業化司
韓国知識經濟部
- <共催> ロボット産業振興会議 情報通信研究機構 産業技術総合研究所 日本原子力研究開発機構
科学技術振興機構研究開発戦略センター 中国科学技術部高新技术研究發展センター
韓国産業技術評価管理院 福岡県 北九州市 福岡市
- <後援> 総務省 外務省 文部科学省 経済産業省九州経済産業局 日本ロボット工業会
日本ロボット学会 福岡県産業・科学技術振興財団 北九州産業学術推進機構
在日中国科学技術者連盟 日本華人教授会議 留日学人活動 中日韓経済發展協会
九州大学 九州工業大学 北九州市立大学 早稲田大学 北九州工業高等専門学校
日刊工業新聞社
- <協賛> 安川電機 トヨタ自動車 西日本産業貿易コンベンション協会

<会場案内>

【JRでお越しの場合】

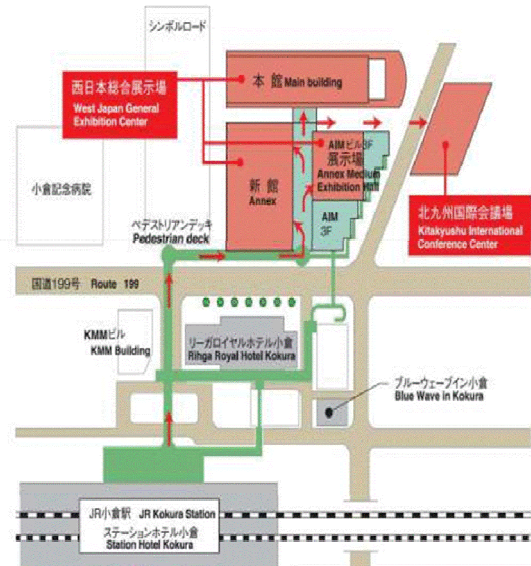
- 小倉駅新幹線口（北口）より徒歩5分
（駅から西日本総合展示場まで空中回廊で直結しています）

【車でお越しの場合】

- 北九州都市高速道路小倉駅北ランプより1分
（駐車場は有料です）

【飛行機でお越しの場合】

- 北九州空港から
- 路線バスで約40分（小倉駅バスセンター下車）
 - 車で約30分
- 福岡空港から
- 地下鉄で博多駅下車、新幹線で小倉駅まで約20分



<お問合せ先>

日中産学官交流機構

TEL : 03-3556-9455

e-mail : nicchu@mva.biglobe.ne.jp

ロボット産業振興会議

TEL : 092-643-3445

e-mail : robot@asias-kyushu.com

◆◆◆プログラム◆◆◆

言語：英語・日本語(同時通訳)

1. 開会式 (9:00~9:45)
2. 国家プロジェクト紹介 (9:45~11:00)
 - ・「次世代ロボット知能化技術開発」 佐藤知正 氏 (東京大学大学院情報理工系研究科 教授)
 - ・「サービスロボットにおける中国の国家計画」 王田苗 氏 (北京航空航天大学機械工程及自動化学院 院長)
 - ・「韓国政府による先導的ロボットプロジェクト」 Eui-Jin Jun 氏 (韓国ロボット産業研究所 プロジェクト主任)
3. トピカル講演 (11:00~12:30)
 - ・「東日本大震災及び原子力発電所事故におけるロボット技術の活用」
浅間一 氏 (東京大学大学院工学系研究科 教授)
 - ・「日本原子力研究開発機構の原子力防災ロボットー福島第一事故緊急対応の概要と教訓ー」
川妻伸二 氏 (独立行政法人日本原子力研究開発機構福島支援本部復旧支援部
技術主席兼遠隔操作技術室長)
 - ・「中国における低侵襲手術のロボットシステム研究」 付宜利 氏 (ハルビン工業大学 教授)
 - ・「韓国における原子力発電所のロボット活用の現状と未来」
Seung-Ho Kim 氏 (韓国原子力研究所核収斂技術部門長)

*** 昼休み ***
4. 産業界等からの発表 (13:30~15:30)
 - ・「ヒューマンアシストロボットへの取り組み」 南善勝 氏 ((株)安川電機 ロボット事業部長)
 - ・「プラントメンテナンスへのロボット化の取り組み」
和田秀樹 氏 (新日本非破壊検査(株) メカトロニクス部課長)
 - ・「ロボットとの音声による対話」 柏岡秀紀 氏 ((独)情報通信研究機構
知識創成コミュニケーション研究センター 音声コミュニケーション研究室長)
 - ・「上海電気におけるサービスロボット研究」 楊軍 氏 (上海電気集团股份有限公司 中央研究院主任)
 - ・「教育用及び高齢者介護サービスのためのテレプレゼンス・ロボット」
Kyun-Chu Shin 氏 (Yujinロボット(株) 社長)

*** 休憩 ***
5. パネルディスカッション (15:45~16:45)

テーマ：「ロボットの社会実装と実用化への展望」

モデレータ：長谷川勉 氏 (九州大学大学院システム情報科学研究院 教授)

パネリスト：野田幸之輔 氏 ((株)安川電機 開発研究所長)

佐藤知正 氏 (東京大学大学院情報理工系研究科 教授)

龔振邦 氏 (上海大学精密機械研究所 教授)

Young-Jo Cho氏(韓国電子通信研究院 副院長)
6. 閉会式 (16:45~17:00)

県内企業が開発したロボット製品・試作品の展示やデモンストレーションも行います。
 (株)安川電機 (生活支援ロボット『スマートパル』)、(株)JAPAN ROBOTECH (ロボット教材『Miniway』)
 (株)ハイブリッド・リコグニション・テクノロジーズ (調剤検査ロボット)、三ツ和金属(株) (全方位移動車いす)
 (株)セントラルユニ (返品薬仕分け装置)、(株)コア九州カンパニー (食事支援ロボット)
 新日本非破壊検査(株) (配管検査ロボット『エルボマスター』)

《参加申込書》 申込締切：10月28日(金)
FAX：03-3556-9456 日中産学官交流機構 効部 行
 下記項目を記載したE-mail (nicchu@mva.biglobe.ne.jp) でもお申し込みいただけます。

会社名			
住所		Tel	
E-mail			
参加者ご氏名	参加者ご氏名		

※申込みに際し、提供いただいた個人情報について、他の目的に使用することはありません。